

学校教育目標	「人間力を高める因島南小教育」～静と動の融合が生み出す教育活動～		
a ミッション	個別最適な学びによる因島南小教育の確立	a ビジョン	令和2年度末までに、児童の姿（学力検査結果・質問紙・不登校児童の減少等）で「仕方がないから統合した」から「統合して良かったじゃないか」という思いを児童・地域・保護者と共有する。

評価計画				自己評価					学校関係者評価			改善計画		
b 中期経営目標	c 短期経営目標	d 目標達成のための方策	e 評価指標	f 目標値	7月	1月	h 達成度	i 評価	j 結果と課題の説明	k 二次評価			l コメント	m 改善案
					g 達成値	g 達成値				イ	ロ	ハ		
基礎・基本の徹底と定着 学びの基礎・基本の充実 生活の基礎・基本の充実	基礎・基本の学力の定着と思考力・判断力・表現力の向上	6年間安定して学ぶ授業スタイルを作る。 ○児童のつまずきに対する効果的な支援や手立てを設定した授業の実施 努力や成長を実感させる評価の場を作る。 ○毎月2回、漢字小テストを実施	○標準学力調査正答率 ・全国平均±0% ○算数科単元末テスト観点別評価「知識・技能」「思考・判断・表現」 ・正答率80%以上の児童の割合80%以上 ・正答率30%未満の児童の割合8%未満 ○漢字小テスト ・正答率80%以上の児童の割合80%以上	80%	72.2%	71.8%	89.8%	B	・「知識・技能」「思考・判断・表現」の両観点で目標値を下回った。 ・学年が上がるにつれて正答率が低下するという傾向が見られる。 ・「知識・技能」「思考・判断・表現」の両観点の平均では目標値を上回った。しかし、「思考・判断・表現」だけを見ると目標値を下回った。 ・意欲的に取り組めない児童に対して担任が個に応じて取り組むことができた。 ・回を重ねることに平均点を上げることができた。	3			・数値としては難しいところがあるが、教師が個に応じた取組みができて素晴らしいと思う。 ・全国学力・学習状況調査の国語・算数の全国平均との比較で、大きく数値を伸ばしたのみならず、40%未満児童の割合の半減は自校採点による予想値とはいえ、先生方の真摯な取り組みの成果と思う。更なる取組に期待している。 ・各教師の個に応じた取組みにより成果が表れているようにうかがえる。引き続き取り組む中で、漢字テスト以外にも、児童の自己肯定感を高める取組を期待している。	・個のつまずきに応じた、授業内での指導改善に取り組み、全児童が参加できる授業づくりを目指す。 ・家庭学習やモジュールの時間を活用して「思考・判断・表現」の力を育てるために必要な、基本的な「知識・技能」の定着を図る。 ・今後も児童に対する個に応じた声かけを継続して行う。 ・児童が成功する体験を味わったり、自身をもてる取組を企画したりすることにより、児童の自己肯定感を高められるように工夫する。
	学びに向かう姿勢の醸成 学校で学びたい！ 学校へ行きたい！ 自己肯定感の向上	学校生活において、集団生活の基盤を作る。 ○「因島南小4つのきまり」の徹底 休まず登校するための目標を与える。 ○毎月皆勤賞を実施し、欠席ゼロを奨励する。	○重点目標（1つ）を達成した児童の割合90%以上 ○皆勤児童の割合を、80%以上とする。	90%	76.4%	90.3%	100.3%	A	・無言排除の取り組みが因島南のスタンダードになってきている。 ・表彰やバッジ配布が児童の意欲向上につながっている。 ・一部の児童に慣れが出てきているため、教員が共に排除をする姿を見せる必要がある。 ・コロナウイルスの関係で、9月から12月まで79%の児童が登校することができた。 ・昨年度と比較して皆勤児童の割合が4%高くなった。 ・昨年度と月ごとに比較すると、どの月でも昨年度の同月よりも数値が高かった。 →各担任の肯定的な言葉かけや皆勤賞の掲示をすることで、児童の意欲付けになっている。 ・学校が楽しくなるように児童会と連携して大縄跳び練習会を企画、実施することで意欲付けになっている。	3			・「黙想」を取り入れることで、「心落ち着けて、物事に取組む」ための土台作りにつながっていると思う。今後、多方面に波及効果を及ぼすことに期待している。 ・不登校傾向にある児童が、学校に行く目的を与える取組は非常に有効に思える。今後もアイデアを出し合い、企画することで児童に登校する機会を作ってほしい。	・今後も児童と教師が一つの目標に向かって取り組んでいく。 ・児童が静と動のメリハリのある行動ができるように取組を進めていく。 ・不登校児童（その傾向がある児童）が依然として固定化している実態があるので、学校が楽しくなるように、引き続き児童会と連携して遊びの会などを企画、実施することで意欲付けにしていく。

【自己評価 評価】

A: 100 ≤ (目標達成)
C: 60 ≤ (もう少し) < 80

B: 80 ≤ (ほぼ達成) < 100
D: (できていない) < 60

【外部評価】 イ: 自己評価は適正である。ロ: 自己評価は適正でない。ハ: わからない。